

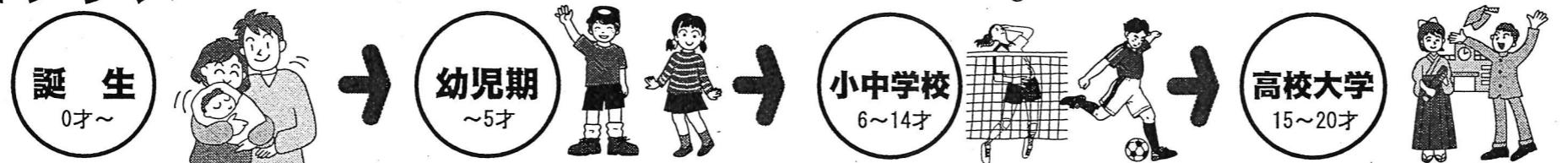
選挙公報掲載文原稿用紙

つなげる安心
広げる“とちぎ”
次世代に責任!

教育子育て20年プラン

FOR THE FUTURE
教育は全ての道につながる

教育は全ての道につながります。
人を育てる教育、福祉を育む教育、
経済を育む教育。教育を20年という
長いスパンで考え、計画し、年齢や
発達段階に応じて、きめ細かい教育
子育てを行うことにより、未来のとち
ぎを託せる、たのもしい人を生むこと
ができると考えています。



出産、育児を地域で支える

- 出産費用、不妊治療費の援助
- 育児・夫参画の促進
- 企業の子育て応援を推進
- 福祉トータルサポートセンターの設置

こどもの知恵は「砂場」から

- 家庭教育支援サポートセンター
- 働くお父さん、お母さんの支援
- 障害児支援
- 食育の導入

人としての人格形成を支える

- 学校、家庭、地域、企業の連携を図る
- 学校連携コーディネーターの設置
- いじめ、学校崩壊、犯罪からこどもを守る
- 障害児のための教職員や配置校の充実

地域で強力にバックアップ

- 教育格差はあってはならないこと
- 奨学金制度の拡充
- とちぎ教育ファンドの創設
- 地産地消や経済の教育

現在：栃木県議会議員（2期当選）。県議会経済企業副委員長。自民党議員会政調会常任理事、商工・建設部会長。私学振興議員連盟事務局次長。歯科保健議員連盟委員。社会福祉推進議員連盟事務局次長。
経歴：佐野市議会議員（4期連続当選）各委員長。両毛5市若手議員懇談会会长。全国若手市議会議員の会関東ブロック代表。（社）佐野青年会議所副理事長。安佐幼稚園PTA連合会会长。佐野みのり幼稚園保護者会会长。佐野市立植野小学校PTA会長 等歴任

重点政策

○教育子育て20年プランの推進

- ・私学・幼児教育の新たな振興と公教育の充実
- ・歴史教育の充実によりとちぎの教育力向上
- ・女性の視点で施策展開と企業での子育て環境の整備

○交流拠点都市に向けて

- ・インランドポート整備 スマートインター導入の推進
- ・安全で安心な道路河川通学路整備による社会基盤の推進
- ・農林畜産物の販路拡大と海外展開及び米粉の利活用促進

○医療福祉の向上

- ・医師看護師等の確保と在宅医療・歯科検診の推進
- ・健康長寿や歯及び口腔の健康づくり施策の推進
- ・障がい児・障がい者や高齢者に対する支援拠点の充実

○観光治安の強化

- ・観光立市・立県・立国に向けた地域資源の活用強化
- ・安心な通学路や街頭の確保のため防犯カメラの設置強化
- ・警察官増員と装備充実、警察署等の環境整備の推進強化

自由民主党

かねこ
金子ゆたか

受付番号	平成 年月日
	番

候補者氏名	電話番号及び連絡場所
かねこ 金子ゆたか	111-1111 新宿

選挙公報掲載文原稿用紙

元気度 日本一 とちぎを!!

柘木創生元年

魅力ある地域づくり 県政への五つの挑戦

一、健康で安心して暮らせる

高齢者・福祉対策の推進

- ・地域医療体制の確立
- ・介護福祉施設整備促進
- ・安心して子育て支援の環境づくり
- ・健長寿とちぎの実現

二、健全な青少年を育成する教育の推進

- ・少子化に伴う教育環境整備、芸術、文化、
- ・スポーツの振興
- ・とちぎグローバル人材育成の強化

三、安心・安全・快適な住環境づくりの推進

- ・防災・減災対策の推進・地域自主防災組織強化
- ・高齢者、子供にやさしい道路整備

四、地域経済・商工業・農林業活性化の推進

- ・中小企業支援策、企業誘致、農業六次産業化の推進
- ・中山間地域の支援体制の強化

五、地域活性化のため東北道、

北関インター沿線開発の推進

- ・インランドポートの推進
- ・産業・物流団地誘致による雇用の創出
- ・定住化の推進

自由民主党 かめだ 清
きよし

昭和二十二年十二月二十六日生（六十七歳）

受付年月日	平成 年 月 日 午 時 分
番	

候補者氏名	邊 田 清
連絡場所及び 電話番号	[REDACTED]

●経歴
昭和四十九年 有限会社 亀田薬品創業
平成十一年 田沼町議会議員（一期）
十五年 田沼町議会議員（二期）
四年二月二十四日 田沼町議會議員（三期）
四年二月二十四日 田沼町議會議員（三期）
田沼町商工会副会長
昭和四十九年 田沼口一タリークラブ会長
平成十五年 五月二十四日 田沼町議會議員（一期）
十五年 田沼町議會議員（二期）
田沼町商工会副会長

選挙公報掲載文原稿用紙

みんなが夢をもち 早川けいこ チャレンジできる栃木に!

プロフィール

■1956年 新聞記者早川吉三（元・佐野市長）の次女として生まれる。中学でソフトボール部（主将）、佐野女子高校で登山部、美術部に所属。■1978年 杉野ドレスメーカー学院を卒業後、服飾デザイナーとしての道を歩み始める。■1990年 旧葛生高校の制服デザインをコンペにより採用される。日本ヴォーグ社、全国のニット教室経営者、障がい者施設などにおいて、技術・デザイン指導をする。■2004年 ギリシャ政府より招かれ、世界遺産にて、能楽師野村万斎氏らと伝統芸能をプロデュースする。海外との文化交流事業に関わりながら奉仕団体・足利ベンチャークラブ（3期目会長）国際ソロブチミストにおいて、地域社会活動を行う。■昨年度よりライオンズクラブ会員となり、献血、薬物乱用防止講習会の講師認定など活動を広げる。目下の楽しみは、犬と遊ぶこと。最近の特技はネコとの挨拶。母親との二人暮らし。好きな食べ物は、ラーメン、イモフライ、漬け物。

2期目への挑戦



フェイスブック

はつらつと
元気な
とちぎを
つくります！



約束します！

次世代を担う子ども達のために
女性ならではの視点と感性で働きます。

無所属

昭和31年2月4日生（59歳）

早川けいこ

はやかわ
早川けいこ

受付番号	平成年月日
	年月日午時分
番	

候補者氏名	連絡場所及び電話番号
早川けいこ	はやかわ

選挙公報掲載文原稿用紙

“南那須地域”と“とちぎ”のよりよき未来のために



PROFILE

昭和31年 旧烏山町に生まれる
昭和46年 烏山中学校卒業
昭和49年 県立宇都宮東高等学校卒業
昭和55年 慶應義塾大学経済学部卒業
平成3年 烏山町町議会議員初当選
以来3期連続当選
平成10年 株式会社三森製作所社長就任
平成12年 栃木県議会議員初当選
以来4期連続当選
平成24年 栃木県議会議長就任
(平成25年3月まで)

とちぎの“底力”を輝かす！

- 地域活力の源泉である小規模事業者への支援機能を充実させます。
- 農林業の担い手づくりにおいて、国に頼らない県独自の支援を打ち出します。
- 高齢者の生きがいづくりと健康長寿のための取り組みを強力に支援します。
- 医療介護及び子育て支援に地域間格差が生じないよう県のリーダーシップを発揮させます。

那珂川流域の魅力を活かす！

- 那珂川流域の地域資源を最大限に活用した地方創生を支援します。
- 那珂川鮎街道と八溝そば街道の2つの食の回廊を地域創生の力に変えてゆきます。
- 流域を南北に走る国道293・294号の整備を促進し、ひと・もの・しことの流入を加速化させます。

那須烏山市 那珂川町に活力を創出する！

- 管内の国県道と河川の改良及び防災減災事業に全力を尽くします。
- 烏山高校、馬頭高校をこの地域の人づくりの拠点として継続させるため最大限の努力をします。
- 地域資源を活かした新事業6次産業化に対し惜しみない支援を行います。
- ボランティア活動、地域ぐるみの自主的な活動、伝統文化の継承活動を支援します。

私の考え方です

政治の使命は「よりよき未来をつくること」

私たちの住む地域は今、人口減少に歯止めをかけること、そのため新たな雇用を生み出すことに総力をあげて取り組まなければなりません。「よりよき未来をつくる」ために、今、勇気をもってやり抜く！私は皆様からいただいた力と経験を最大限活かして「地方創生」を成し遂げます。

自民党

昭和31年5月9日生

三森ふみのり

受付番号	平成 年月日
	年月日時分
候補者氏名	三森文徳
連絡場所及び電話番号	[Redacted]

選挙公報掲載文原稿用紙

下野
心

市民の声 住民の思いを県政に!!

新時代のまちづくりをご一緒に

若林かずおは 思いを新たにして 県政にのぞみます

政治にかける姿勢

若林かずおの政治にかける姿勢は

公正 創造 対話 です。

経験と実行力で市民と県政をつなぎます。

政治にかける思い

- 政治はまじめで懸命に生活される人々のお気持ち（声なき声）に応えなければならない。
- 行政は透明性を高くして公正と公平を基本としなければならない。
- 政治は自己責任が問われる競争時代にあっても、本当に必要な人には福祉の心を差し向けなければならない。

断固たる決意の政策

- 地域経済を成長軌道にのせ雇用を安定させます。（経済・雇用）
- 健康づくりと支え合いの豊かなまちづくりをすすめます。（医療・福祉・介護）
- 災害に強いまちをつくり、食や生活環境の安全をはかります。（暮らし・安全）
- 元気な子どもを育てる保育の充実、学力・体力の向上、スポーツ振興などの対策をすすめます。（子育て・教育）
- 豊かな自然を保護・創生し、未来につなぎます。（環境・エネルギー）
- 県や下野市の権限拡充・財源確保に努め、自主性を高めます。（地方分権改革・行財政改革）
- 地域の人口減少・過疎化の不安をなくす具体的対応をすすめます。（若者世代支援・地方創生）

この4年間の議員活動

- 県政諸課題の解決を通じて県民生活の安定向上に尽力してきました。常に下野市を念頭に！
- 公益法人改革・財政健全化プログラム策定
 - 障がい者就労施設の官公需拡大・認知症対策
 - 学力向上策の推進・高校全県1学区化
 - 自然災害復旧・復興対応など多面にわたり

プロフィール

- 下野市箕輪（旧国分寺町）生まれ・在住
- 国分寺中学校・栃木工業高校・東洋大学社会学部卒
- 小山市役所に32年10か月勤務教育・福祉・地域情報化などの充実に努める
- 現栃木下野リトルシニア野球協会長。地域スポーツ活動・地域グループ活動など社会活動に参画
- 平成19年4月・平成23年4月栃木県議会議員選挙当選（現在当選2期）・現栃木県監査委員

昭和23年5月28日生（66歳）

自由民主党

若林かずお

わかばやし

受付番号	受付年月日
	平成 年 月 日 午 時 分
番	

連絡場所及び電話番号	候補者氏名
若林かずお	わかばやし

選挙公報掲載文原稿用紙

Dream ー次の世代に残せる仕事を

一人ひとりを強く、豊かに。

政治に熱く、
政策にまじめで、
人に素直です！

プロフィール

1964年2月2日生まれ（現在51歳）
神奈川大学法学部法律学科 卒業
栃木県議会議員 現在2期目

現職

- ・自民党栃木県連 遊説局長
- ・自民党栃木県連 政務調査会 常任理事
- ・農山村振興議員の会 事務局長
- ・商工会を支援する県議会議員の会 事務局次長

地方に元気と活力を！

持続可能な地域社会を創るため、大胆な発想で政策転換を図り、全力で取り組んでまいります。

豊かに

農業・林業

森林資源の保全・整備、有害鳥獣害対策の強化。

健やかに

医療・福祉

医療・介護・生活支援サービスの一体的な体制整備。

未来へ

子育て・教育

児童虐待の根絶、いじめ・不登校対策の強化推進。

穏やかに

暮らしの安全

魅力ある公共交通（LRT）の実現、若者の雇用促進。

もっと強く

産業

小規模事業者の資金繰り対策、商工団体との連携。

受付番号	受付年月日
	平成 年月日午 時分 番

連絡場所及び 電話番号	候補者氏名
	山形 しゅうじ

自由民主党
し山やまがた
しゆうじゅとうじん

昭和39年2月2日生（51歳）

選挙公報掲載文原稿用紙

受付年月日	平成 年 月 日 午 時 分
受付番号	番
候補者氏名	佐藤 良
連絡場所及び電話番号	[REDACTED]

自由民主党 サトウ 良

昭和54年5月5日生（35歳）

明るい未来へ



新たな時代の公（行政）づくり

議会改革

栃木県議会では、県民の負託に応える開かれた議会を目指すため、全国に先駆けて「通常議会の導入」及び「常任委員会の改革」を図り、災害等の突発的事態に対しても迅速に適切な対応が出来るよう取り組んでいます。

官民協働

「地域をともに創る」という考え方方に立ち、官民協働の視点で民間活力の積極的な推進を図ります！

地方重視

国と地方の役割分担を明確にし、市町との連携協力のもと、「県民中心市町重視」の行政運営を推進します！

行政改革

行政の無駄をなくし、効率的で効果的なスリムな行政運営を目指します！

日本一元気な栃木県を目指して！

子育て教育

□ 結婚から妊娠・出産・子育てへの継続的な支援など少子化対策に取り組みます。
□ 女性の活躍、社会進出を促進するため、女性の働きやすい環境を整備します。
□ 子供たちの学力向上を図るために、「とちぎつ子学力調査」を活用し、指導力向上に取り組みます。

医療福祉

□ 地域格差のない、安心で良質な医療体制を確保します。
□ 地域包括ケアシステムを構築し、健康長寿日本を目指します。

産業雇用

□ 企業誘致に努め、新たな雇用を確保します。
□ 小規模企業への支援体制の強化を図り、県内経済の振興に努めます。

農業環境

□ イチゴやトマト等の園芸作物の生産振興を強化し、産地間競争に勝てる力強い農業の実現を目指します。
□ 本県の豊かな地域資源を利活用した再生可能エネルギーの普及拡大に努め、エネルギーの地産地消に努めます。

暮らし安全

□ 多発する自然災害に対し、防災意識の高揚を図り、社会資本の整備を促進することで災害に強い県土づくりに努めます。
□ 地域住民や警察、行政が連携し、犯罪や事故のない安心安全な地域づくりを目指します。

プロフィール

- 住所 〒321-0225 栃木県下都賀郡壬生町本丸2-15-20（事務所）
- 生年月日 平成19年4月5日
- 国学院大学栃木高校玉川大学工学部卒業
- 衆議院議員「川崎一郎」代議士の秘書として政治を学ぶ。
- 趣味 スポーツ（サッカー）、映画鑑賞、音楽鑑賞。

